

策定の目的

県民の健康増進や自家用車に頼り過ぎない社会の実現、観光振興等につなげるため、自転車活用推進計画を改定し、子どもから高齢者まで幅広い世代の県民が利用でき、環境にも優しい身近な交通手段である自転車のさらなる利用促進を図る。

計画期間：令和7年度～令和11年度

現計画期間中の主な動き

- 令和3年6月 若狭湾サイクリングルート推進協議会設立
- 令和3年12月 福井県自転車の安全で適正な利用に関する条例の制定（令和4年7月から施行）
- 令和5年12月 第1回ふくい自転車を活用したまちづくりサミット開催
- 令和6年10月 第11回自転車利用環境向上会議in敦賀・若狭

現行計画の成果と今後の課題

○利用環境

- 【成果】
- ・若狭湾サイクリングルートを始めとする自転車走行環境の整備（103km）
 - ・サイクルトレインの運行
 - えちぜん鉄道および福井鉄道において運行 R5年度利用実績：308人
 - ・シェアサイクルの設置
 - レンタル・シェアサイクル拠点 R元：70か所 → R5：87か所
 - レンタル・シェアサイクルの年間利用者 R元：12千人 → R5：36千人
 - ・自転車の駅の整備
 - 自転車の駅の認定箇所 R2：97か所 → R5：158か所
- 【課題】
- ・自転車走行環境や利用環境に対する満足度が低い
 - 自転車走行環境に対する満足度（とても満足、やや満足） R元：31%→R6：26%（県民調査）
 - 利用環境に対する満足度（とても満足、やや満足） R元：36%→R6：38%（県民調査）

○自転車の利用状況

- 【課題】
- ・自家用車の利用割合が高く、自転車の利用頻度が低い
 - 一世帯当たり自家用車普及台数 1.7台（全国1位） 全国平均1.0台（自動車検査登録情報協会）
 - 自転車の利用頻度（週1～2日以上利用する） R元：39%→R6：29%（県民調査）

○サイクルツーリズム

- 【成果】
- ・計画記載の3ルート（*）を国土交通省ホームページ上でモデルルートとして公開（*福井・坂井・永平寺観光地アクセスルート、三方五湖周遊ルート、若狭湾サイクリングルート）
 - ・若狭湾サイクリングルートのナショナルサイクルルート指定に向けて利用環境整備
 - ・様々なサイクリングイベントの開催（ツール・ド・ふくい、若狭路センチュリーライド等）
 - ・北陸3県が一体となったイベントの開催など北陸3県の連携推進
- 【課題】
- ・モデルルートの未整備区間やルート未設定地域におけるルート整備

○自転車の安全・安心な利用

- 【成果】
- ・福井県自転車の安全で適正な利用に関する条例の施行
 - 自転車損害賠償責任保険等の加入義務やヘルメット着用の努力義務について規定
- 【課題】
- ・ヘルメット着用率が全国に比べて低く、重大事故につながる可能性
 - 福井県におけるヘルメット着用率 11.0%（全国32位） 全国 平均17.0%（警察庁調査）

次期計画において解決すべき課題

自転車通行空間の計画的な整備

公共交通機関等との接続強化

通勤や業務での移動など日常での自転車利用推進

サイクルイベント等でのサイクリングルート活用

自転車利用時の交通ルールの徹底

自動車運転者の安全意識向上

検討・実施する具体的な施策

現行計画により進めてきた施策等の成果と課題や、計画期間中の状況変化等を踏まえて、さらなる自転車の活用促進策等を推進

1 自転車利用者に優しい環境づくり

- ・路面表示の設置や補修などによる安全性の確保
- ・公共交通機関の駐輪場整備、利用率向上
- ・サイクルトレイン・サイクルバスの運行
- ・シェアサイクルの利便性向上
- ・自転車の駅の充実・周知 等

2 自転車と暮らすライフスタイルの推進

- ・マイカーから自転車への利用転換の広報啓発
- ・業務内での自転車利用の推進
- ・災害時における自転車の活用
- ・自転車販売店と連携した情報発信強化
- ・自転車を活用したレクリエーションの推進
- ・自転車競技スポーツの振興、競技力向上
- ・地域で行う自転車イベントの推進 等

3 サイクルツーリズムの推進による観光振興

- ・若狭湾サイクリングルートのNCR指定の取組みと利活用
- ・北陸3県を結ぶサイクリングモデルルートの設定
- ・近隣県と連携したサイクリングルートやイベントのPR
- ・自転車利用と公共交通を組合わせた観光型MaaSの推進
- ・サイクリングマップやHPでの分かりやすい情報発信
- ・関係機関が連携した各種イベントの発信強化 等

4 自転車事故の無い安全で安心な社会の実現

- ・学校における交通安全教室の開催
- ・学校や企業等へのヘルメット着用の呼びかけ
- ・レンタサイクルにおけるヘルメット着用の推進
- ・「ながら運転」等の危険運転防止の啓発
- ・自転車保険加入の促進
- ・高齢者に対する安全教育の推進 等